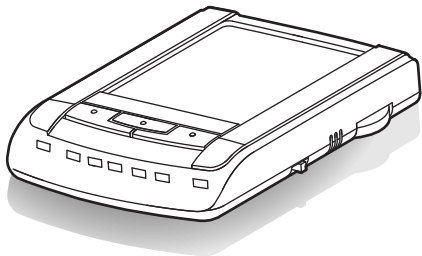


この度はベストワンシリーズレーダー探知機をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付け及び操作手順が説明されています。正しくご使用いただく為に本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。尚、読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。



	ページ
・ご使用上の注意	2
・おもな特長	5
・各部の名称	6
・ご使用にあたって	8
・使用初期の充電	9
・レーダー受信機を取付け方法	10
・使用方法（各スイッチの設定方法）	14
・使用方法（その他機能用語説明と電池交換について）	19
・本機の受信方法	20
・レーダーまめ知識	22
・故障かな？と思ったら	25
・仕様	26
・保証書	27

ご使用上の注意

ご使用前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いをすると、生じる事が想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。



警告

警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。



注意

注意を無視した取扱いをすると、使用者が傷害や物的損害を被る可能性があります。



警告

- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。又、自動車の機能（エアバック等）の妨げにならない場所に取り付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車の故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。

ご使用上の注意 つづき

注意

- 本製品にはお買い上げの日から1年間の保証がついています。（ただし、内蔵のニッケル水素電池、吸盤等の消耗品は保証の対象になりません）
- 万一、製品本体にロット番号シールがない場合は、商品をご使用になる前に弊社へご連絡ください。
- 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 本製品は、レーダー式（Xバンド・Kバンド）の速度取締機と、カーロケータシステム（407MHz帯のみ有効で光電管式、ループコイル式・ワイヤー式等、他の方式による速度取締機には反応しません）
- 取締りレーダーと同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で、レーダー受信機が受信することがありますが、これは誤作動ではありません。あらかじめご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダー・航空用レーダー）
- 一部のナビゲーションシステムなどの電装品装着車において、それら機器からの漏れ電波により、レーダー受信機が誤作動する場合があります。
- 太陽電池の発電量は使用環境（気象条件・駐停車中の日照状況等）の影響を受け易く、通常状態よりはやく電池が消耗する事があります。シガープラグからの併用充電を行ってください。
- 本製品を取付けての違法行為（スピード違反等）に関しては、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品の仕様及び外観は改良の為、予告なく変更する事があります。ご了承ください。
- 断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入り等）、ミラー式フィルム装着車の場合はレーダー波が受信できない場合があります。
- 本製品の故障による代替品の貸出、取付・取外工賃の保証は一切行っておりません。

おもな特長

- シンプルモダンデザイン
- カーロケ受信機能
- 連続動作時間80時間達成（無警報待機時）
- X・Kバンド受信
- ステルス対応（P22参照）/新Hシステム対応（P23参照）
- レーダー受信感度（LOW・HI・S-HI）3段階切替え
- LSC-V（ロー・スピード・キャンセル）機能
- ASC-V（オート・センシティブ・コントロール）機能
- オートボリュームダウン機能
- ローバッテリー機能&バッテリーチェック機能
- ミュート機能
- フロントガラス又はダッシュボード取付け可能ステー

各部の名称

本体



ASC-V受信感度
設定スイッチ (P18)

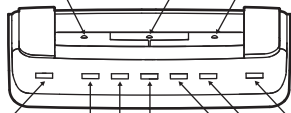


テスト/ミュート
スイッチ (P15)



バッテリーチェック
スイッチ (P17)

アラームランプ



アラームランプ

レベルメーターランプ
(P21)

電源/受信感度ランプ
(P14,18)

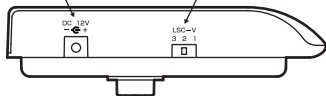
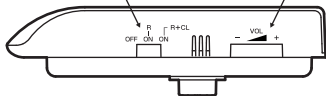
カーロケ受信ランプ
(P20,21)

電源・カーロケ切替えスイッチ
(P14)

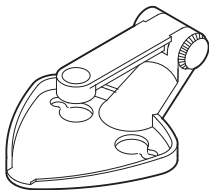
音量ボリューム
(P15)

電源ジャック
(P9)

LSC-V振動感度設定スイッチ
(P16)



付属品



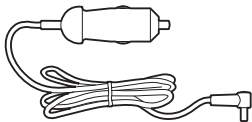
ジョイントステー (1個)



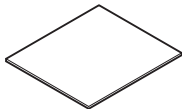
平ワッシャー (1個)



取付けネジ (1個)



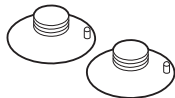
12V専用シガープラグ (1個)



両面テープ (1枚)



ゴムパット (1個)

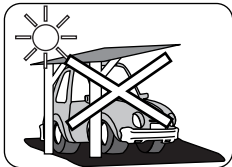


吸盤 (2個)

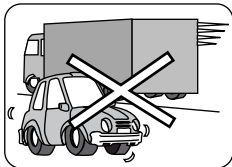
ご使用にあたって

本製品の回路設計にあたっては、通常の使用状況において太陽電池の発電量と回路消費電力のバランスがとれるようになっていますが下記のような場合、発電量が不足しチャージサインが表示されることがあります。もしこのような症状が現れた場合は付属のシガープラグを使用して定期的に充電してください。

屋内駐車場・ガレージ等、太陽光の直接当たらない場所へ長時間駐車される場合。



高速道路・交通量の多い道路脇・鉄道の線路脇等、絶えず振動を受けて動作状態になる場合。



冬季・梅雨時等、曇りの日が続き日照時間が少なくなる場合。又はUVカットガラスの場合、充電効率が悪くなります。



夜間走行の頻度が多い場合。



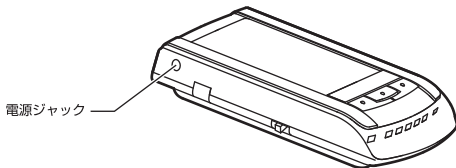
使用初期の充電

まず、最初に**充電**を行ってください。

出荷時には、検査用予備充電しかされておられません

長い間、本体を使用せず放置しておきますと内蔵電池が自然放電します。当社専用シガープラグコード（12V）を使用し、エンジンをかけて充電してください。一旦シガープラグコードを抜いてバッテリーチェックスイッチ（P17）を押してレベルメーターランプが緑色になれば、充電完了です。（電源スイッチは、ON/OFFどちらでも充電できます。）

※充電時間は、連続充電で約4時間必要です。（目安）



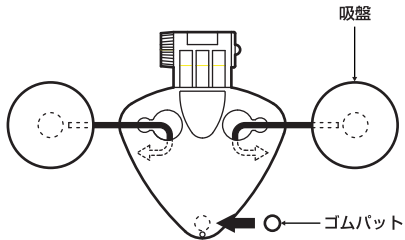
⚠ 注意

使用状況・使用環境にもよりますが、おおむね4～5年が目安となります。内蔵電池の寿命に満たない前に内蔵電池の容量が低下する事（メモリー効果）がありますが、その場合は一度完全放電させてから満充電にすると、性能がもどる場合があります。また、内蔵電池はリサイクル可能なニッケル水素電池ですので交換の際は弊社サービス部までご連絡ください。

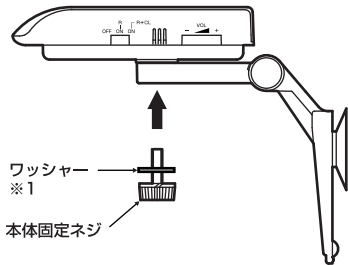
レーダー受信機の取付け方法

フロントガラスへの取付け

- 1** ステアに吸盤(2個)とゴムパット(1個)を取付けます。



- 2** レーダー受信機本体をステアに取付けます。

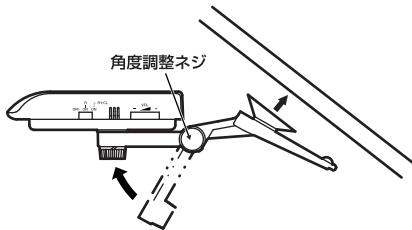


※1 ワッシャーが無いと、本体がぐらつきますのでご注意ください。

レーダー受信機の取付け方法

フロントガラスへの取付け

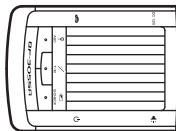
- 3** フロントガラスに取付けます。
レーダー受信機が地面と平行になるよう、
角度を調整後、角度調整ネジをしっかり
手で締めます。



警告

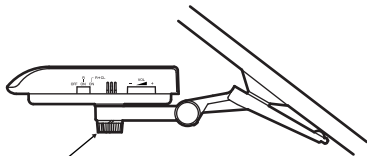
エアバックの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けしてください。
誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

- 4** レーダー受信部が、進行方向に向くよう
に、調整した後、本体固定ネジを手でし
っかり締めます。



上から見た図

進行方向

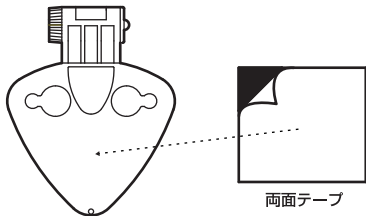


本体固定ネジ

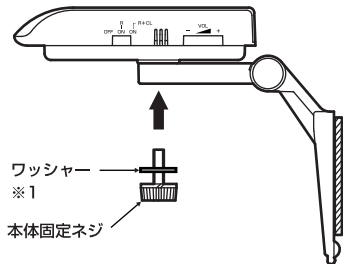
レーダー受信機の取付け方法

ダッシュボードへの取付け

- 1** ステアに両面テープを取付けます。



- 2** レーダー受信機本体をステアに取付けます。

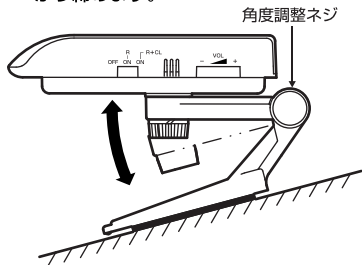


※1 ワッシャーが無いと、本体がぐらつきます
のでご注意ください。

レーダー受信機の取付け方法

ダッシュボードへの取付け

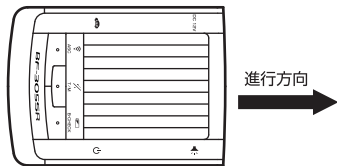
- 3** ダッシュボード上に固定します。
レーダー受信機が地面と平行になるように角度調整後、角度調整ネジを手でしっかり締めます。



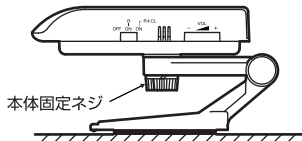
⚠ 警告

エアバックの飛び出し場所等、運転や視界の妨げにならない場所に取付けしてください。
誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

- 4** レーダー受信部が、進行方向に向くように、調整した後、本体固定ネジを手でしっかり締めます。



上から見た図



使用方法（各スイッチの設定方法）

電源／カーロケON・OFF切替スイッチの設定

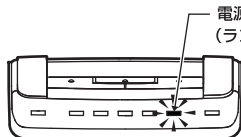
本機は、電源のON・OFFとカーロケ受信※1（有効／無効）切替を一つのスイッチで兼用しています。

※1カーロケ受信機能についてはP20を参照

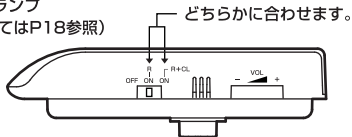
本機の電源スイッチを R 又は R+CL（下図）のいずれかに合わせます。

R：レーダー ON

R+CL：レーダー+カーロケ ON



電源／受信感度ランプ
(ランプ色についてはP18参照)



どちらかに合わせます。

※この時、電源／受信感度ランプが点滅すれば正常です。

! 注意

LSC-Vスイッチ（P16）が1になっていると、電源／受信感度ランプがすぐに消えてしまうことがあります。

使用方法（各スイッチの設定方法）

テスト／ミュートスイッチ（ T/M ）と音量ボリュームの設定

テスト／ミュートスイッチ（ T/M ）とは

本機がどのような警告をするのかを確認できるテストモードと、受信中の警告音を消すミュート（消音）機能を兼用したスイッチです。



テストモードを使用する

- 1 本機の電源をONになっていることを確かめてからLSC-Vスイッチを3に設定して、本機に軽く振動を与えながらテスト／ミュートスイッチ（ T/M ）を押します。（約10秒間警告音とアラームが鳴ります。）

- 2 その間に音量ボリュームで適度な音量に調整してください。

ミュート（消音）機能を使用する

レーダー波を受信中、テスト／ミュートスイッチ（ T/M ）を押すとレベルランプは受信状態のまま、アラームランプ・警告音だけをカットします。

ミュート状態は、その時受信している電波がなくなると自動的に待機状態に戻ります。

使用方法（各スイッチの設定方法）

LSC-Vスイッチ（) の設定

LSC-Vスイッチとは

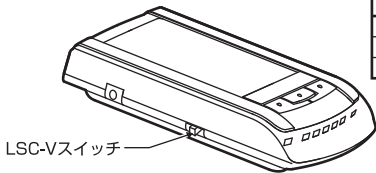
車の走行振動を利用して駐・停車時の不要な警告音を自動的にカットする為の振動調整用スイッチです。

LSC-V機能を使用する。

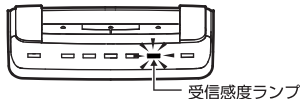
1 本機の電源をON（R 又は R+CL のいずれか）に合わせます。

2 LSC-Vスイッチを電源／受信感度ランプの点滅が消えるところに合わせます。
（LSC-Vの振動感度は 1…鈍感 2…中 3…敏感 としてあります。）

走行時、30~40Km/h以上で電源／受信感度ランプが点滅していれば、設定完了です。



LSC-Vスイッチ	振動検出感度	車種タイプ（目安）
1	低	ディーゼル（振動の大きい車種）
2	中	ガソリン／ディーゼル
3	高	ガソリン（振動の小さい車種）




※ ディーゼル車の場合アイドリング及び、走行中の識別が正常にできないことがあります。
このような場合は、停止（エンジン停止）後しばらくすると電源／受信感度ランプの点滅が消えるように調整してください。

使用方法（各スイッチの設定方法）

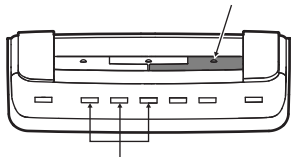
バッテリーチェックスイッチ（ B-CHECK）について

本機内蔵の電池充電状態が確認できます。


1 本機の電源をON（R 又は R+CL のいずれか）に合わせます。

2 バッテリーチェックスイッチ（ B-CHECK）を押します。
充電状態が、レベルメーターで表示されます。（下図参照）

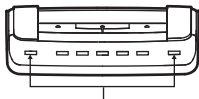
バッテリーチェックスイッチ（ B-CHECK）



レベルメーターの色

	赤色	充電必要
	橙色	充電をおすすめします
	緑色	充電良好

本機は電池容量不足の場合、自動的にお知らせするチャージサイン機能を採用しています。（詳しくはP19）




アラームランプと連動して音が
“ピピピピ”と鳴ります。

使用方法（各スイッチの設定方法）

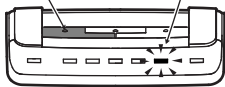
受信感度スイッチ（ ASC）の設定

本機の受信感度設定は、マニュアル（手動）設定とオート（自動）設定のどちらかを選択することができます。走行条件に合った最適な受信感度を設定してください。

マニュアル（手動）感度設定のしかた

- 1 電源がONになっていることを確かめてから受信感度スイッチ（ ASC）を押します。“ピッ”とアラーム音が鳴り、電源／受信感度ランプの色が切替わり点滅します。


- 2 最適な受信感度（右表）を選択します。
受信感度スイッチ 電源／受信感度ランプ



受信感度ランプ発光色	受信感度	走行場所	走行状態
赤	L (LOWモード)	市街地	低速走行
橙	H (HIモード)	郊外	中速走行
緑	S-HI (SUPER-HI)	高速道路	高速走行

オート感度設定のしかた（ASC-V）

ASC-Vとは走行条件に合わせて自動的に受信感度を設定するオート・センシティブ・コントロールの略語です。

- 1 電源がONになっていることを確かめてから受信感度スイッチ（ ASC）を2秒以上押します。“ピピッ”とアラームが鳴りオート（ASC-V）がはたらきます。

注 マニュアル（手動）感度に戻したい場合はもう一度、受信感度スイッチを2秒以上押しと、“ピーッ”と鳴りマニュアル（手動）に切替わります。

※バッテリー容量が無くなった場合、又は電源スイッチをOFFにした場合はASC-V機能が解除されます。

使用方法（その他機能用語と電池交換について）

その他機能用語説明

オートディマー機能

電波を受信したのち、約15秒後に、自動的に警告ランプの明るさを調整します。オートディマー機能は、受信感度をオート（ASC-V）に設定時のみ有効です。

オートボリュームダウン機能

電波を受信したのち、約15秒後に、自動的に警告音をカットします。オートボリュームダウン機能は受信感度をオート（ASC-V）に設定時のみ有効です。

チャージサイン機能について

本機は内蔵電池が充電不足になると、アラームランプが点滅しアラーム音が“ピピッ・ピピッ…”と鳴り続けて、ドライバーに充電が必要であることをお知らせします。（P17参照）
このようなときは付属のシガープラグを使って充電して下さい。

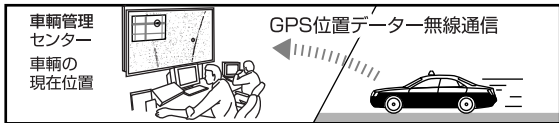
電池交換について

内蔵電池は、使用状況・使用環境にもよりますがおおむね4～5年が目安となります。
内蔵電池の寿命に満たない前に電池容量が低下する事がありますが、その場合は、一度完全放電させてからフル充電すると性能が回復することがあります。それでも充電しても低下するようになりましたら、本機をお買い上げの販売店で本機の電池交換受付けをお願い致します。
ご不明な点がございましたら、弊社サービス部（0561）36-5654までご連絡ください。

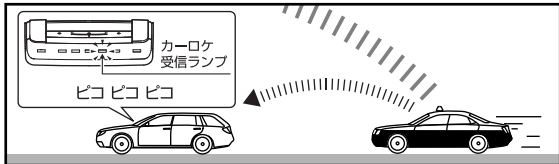
本機の受信方法

カーロケーターシステムとは・・・

正式名称を「無線自動車動態表示システム」と言い、緊急車輛に装備されたGPS受信機より算出した位置データを無線で各本部の車輛管理センターへ送信するシステムです。本製品は緊急車輛からの電波を受信し、警報を行い、緊急車輛の走行を妨げないよう安全な回避を促します。



カーロケーターシステム装備車はGPSより算出した位置データをに車輛管理センターへ電波で送信しています。(注 右記※1参照)



本製品は各本部へ送信している電波を受信し、警報を行い、緊急車輛の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

※1

- 一部地域または、一部緊急車輛には、カーロケーターシステムが装備されていない為、本製品では受信できない事があります。
- カーロケーターシステムは間欠で送信される為、実際の緊急車輛の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
- 緊急車輛は走行状態（緊急走行、通常走行、駐停車）によって、電波の送信時間が変化する為、実際の緊急車輛の接近と受信タイミングにズレが生じる事があります。
- 緊急車輛がエンジン停止時は電波の送信を行わない為、本製品での受信はできません。
- 送信電波の中継局、受信本部近辺では緊急車輛の接近に関わらず受信する事があります。
- 本製品が受信するカーロケーターシステムは、パトカー、覆面パトカーを中心に導入されており白バイ、救急車、消防自動車等には現在導入されておりませんが、将来的には導入する可能性があります。

本機の受信方法

<p>レーダー式取締り機 迄の距離 (電波の強さ)</p>			
<p>レベルメーターランプ</p>	<p> </p>	<p>レベルメーターランプ</p>	
<p>アラームランプ (赤) アラーム音</p>	<p> </p> <p>※アラーム音、アラームランプは同期して動作します</p>		
<p>アラーム音</p>	<p>受信感度ランプ</p> <p>LOW (赤) HI (橙) S-HI (緑)</p>	<p>アラーム音が鳴らない</p> <p>アラーム音が鳴る</p>	<p>受信感度ランプ</p>
<p>ステルス受信</p>	<p>アラーム音 : ピロピロピロ・・・ (約3秒)</p> <p>アラームランプ: アラーム音と同期 (早い点滅)</p>		
<p>カーロケーターシステム受信 (407MHz帯) (青)</p>	<p>アラーム音 : ピコ…ピコ…ピコ… (約2秒)</p> <p>アラームランプ: アラーム音と同期 (遅い点滅)</p> <p>カーロケ受信ランプ: 青色で点灯</p>		

レーダーまめ知識

このページでは一般に知られているいろいろな取締り機についての説明をします。

本機で受信可能な取締り電波（周波数）の種類

Xバンド

現在行われているレーダー式取締り機の周波数はXバンド（10.525GHz）を使用しています。

Kバンド



現在、国内ではKバンドの取締りは行われていませんが、米国ですでに使用されています。（24.200GHz）近い将来この周波数を用いた取締りが行われる可能性があります。

取締り方法の種類

■ レーダー式（本機で受信可能）

ステルス型

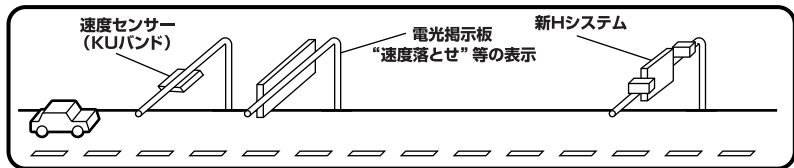
警察官がリモコンで装置をコントロールして電波を出します。至近距離まで取締り電波の発信を抑える“狙い撃ち”的方法ではレーダー受信機の反応は極端に遅れ70～100メートル地点（計測範囲内）でいきなり受信したり、また受信できないケースも想定されますので特に先頭を走行する際は、注意が必要です。

ステルス形状	ステルス形式
	三菱電機 RS-720DR型
	JRC（新日本無線） JMA-230型

レーダーまめ知識

新Hシステム

CCDカメラで違反車両のナンバー及び運転者を同時に撮影し専用回線を介して警察本部の大型コンピュータに送られます。受信距離は500m前後が一般的ですが電波の分布(間欠発信)の関係で連続音はやや遅くなります。本機はステルス・新Hシステムに対応できるように設計されています。

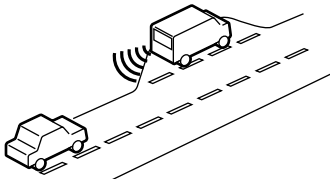


パトカー車載式

パトカーの赤色灯部分を一部改良して取締り装置を載せたもので、主に高速中に後方から取締ることが多い。レーダー出力が強いため500メートル以上からでも受信できます。

移動オービス式

ワンボックス後部にオービスレーダー式、光電管式(本機で受信しません)装置を搭載しています。



レーダーまめ知識

レーダー式以外（注.本機は反応しません。）

ループコイル式

設置式オービスの一種で、車両測定を道路下や中央分離帯等に埋め込まれた金属探知機によって車両が通過する際の速度を測定する方式です。この取締りは電波をださない為本機は反応しません。設置式オービスの場合は事前に表示板がでている事が多いので、見落とさないよう注意が必要です。

LHシステム式

速度計測部がループコイル方式で、違反車輛の写真撮影がHシステム方式の取締り機です。この取締りも電波をださない為本機は反応しませんが事前に表示板がでている事が多いので、見落とさないよう注意が必要です。

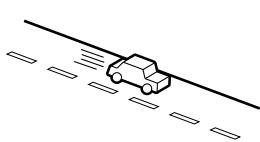
光電管式

昔のワイヤー式を進歩させた取締りで、道路上2点間に置かれたセンサーを車両が通過する際の速度を測定します。この取締りも電波は使用しない為本機では反応しません、しばしば連絡に350.1MHzの警察無線を使用している様です。

取締りレーダー波を受信困難な場合

走行中、環境等の条件によっては取締りレーダー波を受信しにくい場合があります。

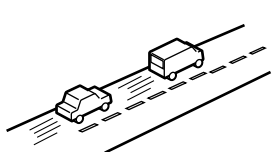
[下り坂]



[曲がった道]



[前に車が走行している場合]



故障かな？と思ったら

次のような場合は、故障でない事がありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

動作しない

- 本機のスイッチが「OFF」になっていませんか？ → 14ページ参照
- 内蔵電池の残量がなくなっていますか？ → 17ページ
19ページ (チャージサイン機能) 参照
- LSC-Vスイッチの感度設定が間違っていますか？ → 16ページ参照

警告音が鳴らない

- 音量ボリュームを低く調整していませんか？ → 15ページ参照

警告音が鳴りつづける

- 内蔵電池の残量がなくなっていますか？ → 17ページ
19ページ (チャージサイン機能) 参照

仕 様

電源電圧	3.6V (高容量ニッケル水素電池)
電池容量	300mAh
充電入力電圧	D.C 12V
消費電流	待機時 1mA以下 (無振動時) 最大時 80mA以下
受信周波数	Xバンド (10.525GHz) Kバンド (24.200GHz) カーロケーターシステム (407MHz帯)
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン
検波方式	FMトラッキングタイムカウント方式
動作温度範囲	-10°C~+80°C -5°C~+80°C (充電時)
本体寸法	W67 × L92 × H15.2 / mm (突起部除く)
重量	102g